



TAGARAから世界へ! TAGARAから未来へ!

令和4年3月5日 令和3年度 第11号 発行責任者 東京都立田柄高等学校長 加藤竜吾

第39回卒業証書授与式

令和4年3月5日(土)田柄高校第39期生の皆さんの卒業式の日を迎えました。141名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私たち田柄高校の教職員、在校生一同は、皆さんの卒業を心からお祝い致します。

卒業生の皆さんは、平成31年4月9日に入学され、翌5月1日から「令和」という新たな時代を迎え、期待と希望を胸に高校生活の三年間を過ごしてきました。東京都教育委員会の重点指導アドバンス校として、普通科外国文化コースを有する本校では、外国籍や外国にルーツのある生徒も多く在籍している中で、様々な国際理解教育を通して、国際感覚を身に付けてきたことと思います。

しかし、高校生活を順調に送れたのは、1年生の時だけとなってしまいました。現在も新型コロナウイルス感染症が続き、オミクロン株の第六波は少し落ち着きつつあるものの、心配な状況は引き続き続いています。部活動を初め、田柄高校で一番活躍する二年生の時期には、長期の臨時休校の後、学校行事も全くできないままで過ごすことになりました。部活動の大会や楽しみにしていた修学旅行も中止となり、やりきれない思いや悔しさも多かったことと思います。三年生になってからは、少しは感染症対策を十分施しながら少しは活動できるようになったものの、皆さんの高校生活は十分燃え尽きないまま、この日を迎えてしまったことと思います。このことは、本当に申し訳なかったと思います。

しかし、今年度、先生方と相談しながら進めてきた第41回飛翔祭では、ビデオによるクラス発表としましたが、さすが三年生、有志の部活動も含めて、どのクラスも立派な作品に仕上げてくださいました。そして、学年別体育祭でも、クラスごとの息の合った競技で、大いに楽しむことができました。そして、二学期期末考査後には、久々の校外学習として芸術鑑賞教室を行うこともできて良かったと思います。

さて、卒業式では、田柄高校の教育目標である「規律ある学校生活の中で、確かな学力を身につけ、国際社会に生きる広い視野をもった人を育てる」から、これからの人生を常に規律正しく生きていくこと、国際理解を自ら進めていくことができる人になることについてお話をしました。卒業生の皆さんにとっては、多難の中、巣立っていくこととなりますが、これからの人生が稔り多き人生となることを心からお祈り申し上げます。



第38回卒業証書授与式から

一	一	一	一	一	一	一	一	次
閉式の辞	卒業生答辞	在校生送辞	来賓及び祝電紹介	校長式辞	卒業証書授与	国歌斉唱	開式の辞	第

令和4年度の田柄高校は . . .

令和4年度から学年進行で実施される改訂高等学校学習指導要領が始まります。本校では、第42期生移行がこの適用になり、併せて普通科外国文化コースも第41期生の卒業をもって廃止となります。文部科学省は、令和2年11月「これからの高等学校教育」の中で、各高等学校の特色化・魅力化～各学科に共通して取り組むべき方策の中で、スクール・ミッションを再定義し、スクール・ポリシーを策定するよう指示を出しました。

本校では、これまで続けてきた教育目標を普遍的なものとし、『「規律ある学校生活の中で、確かな学力を身に付け、国際社会に生きる広い視野をもった人を育成する」を教育目標とし、国際交流や異文化理解、日本の伝統・文化など国際理解教育を充実させ、多角的なものの見方や考え方を身に付け、国際社会に貢献し活躍できる生徒を育成します。』をスクール・ミッションとして制定することにしました。

その中で、進めていかなければならない課題の一つが、新型コロナウイルス感染症対策と一人一台端末に伴うオンライン学習の推進です。本校在校生の通信端末の所有割合は100%でなく、様々な家庭環境の生徒も多い中、所持している通信環境が限られた状態になっています。令和3年度はそのような中でも Teams を活用したオンライン授業等限られた環境の中で学びを止めない環境整備を行ってきました。令和4年などからは一年生から学年進行で一人一台端末を所持することになるため、既存の在学生へも少しずつオンライン学習を推進させていくことが必要です。また、感染症対策は、昨年度と同様に本校では確実な防疫体制を確保した上で、安全・安心な学校教育を展開していくことが求められます。そこで、令和4年度は、様々な形態を工夫した学校行事と昨年度ほとんどできなかった校外行事の実施をしていきたいと考えています。

そこで、令和4年度は、国際理解教育を推進していく上で、「TAGARA から世界へ！ TAGARA から未来へ！ 1 前進：前を向こう“Step forward!”、2 向上：上を目指そう“Look up!”、3 適応：視野を広げよう“Think globally!”」を3つのスクール・ポリシーとして掲げて、次のような取組を特に進めていきたいと考えています。

- ・ 授業規律の確保のため、強い興味・関心をもって取り組む授業を展開します。
- ・ 多くの少人数・習熟度別学習やきめ細かい学習指導、外国籍生徒等への日本語指導を展開します。
- ・ 教科の補習・放課後講習・長期休業期間中の講習充実と各種検定受検指導の奨励をします。
- ・ 一人一台端末への対応を図り、授業のデジタル化の推進を図ります。
- ・ 2020学校レガシーを見据えた教育を推進し、ボランティアマインドの醸成等を図ります。
- ・ 都立高校生活指導指針に基づく生活指導に関する取組を確実に行います。
- ・ 外国籍の生徒や外国にルーツのある生徒に向けた指導として日本での生活マナーを併せた指導を進めていくために、人権教育の一層の推進に努めます。
- ・ SC、YSW、精神科医・特別支援教育心理士等を活用した特別支援教育体制を強化します。
- ・ 通級による指導を必要とする生徒へは、必要な校内体制を整えてまいります。
- ・ 校内環境整備と維持や校舎老朽化への対応等、校舎内外の環境整備を図ります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、日々の検温・消毒の確実な実施、黙食の実施を行い、校内での感染症の発生を極力回避させてまいります。

今年度、学校だよりやHPの充実を図りながら、コロナ禍での学校運営を進めてまいりました。有難うございました。次年度も、どうぞよろしく願い申し上げます。第十二代校長加藤竜吾